

伊賀遍路

ありがたや 大師と巡る 伊賀の国

※手水場・香炉・灯明立などが無い寺院では省略してください。
 ※無住の寺院では、据置きの朱印を自分で押し頂くこととなります。その際、納経料はお賽銭箱にお納めください。

霊場参拝のしかた



①札所に着いたら、山門(境内入口)にて合掌・一礼します。金剛杖をお持ちの場合は、片手合掌で構いません。



②手水場で手を洗い、口をすすいで心身を清めます。水は、飲まないようにします。



③持参した線香と灯明をお供えし、お賽銭をあげます。同時に、お写経や納経札を納めます。



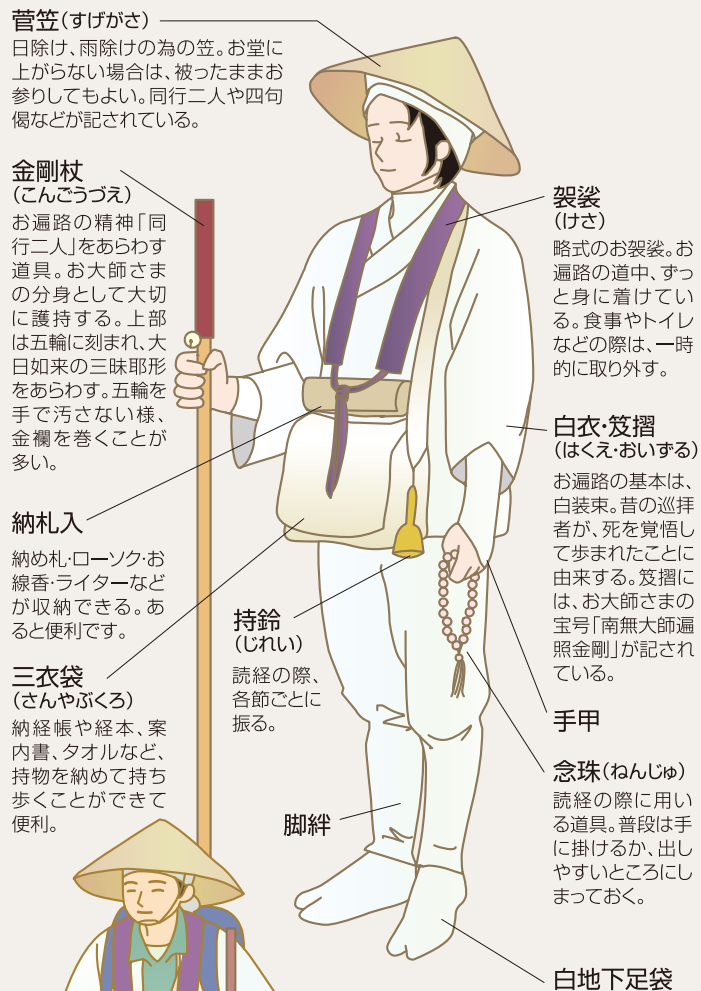
④鰐口を鳴らして、気持ちを落ち着けてから読経します。経本を開き、一字一字ていねいにお唱えしましょう。



⑤納経帳に、ご朱印を頂きます。札所を訪れてすぐにお問い合わせしておくと、時間を有効に使えます。

⑥札所から出る時も、①と同様に合掌・一礼します。

お遍路の服装と持物



現在のお遍路さん

今日、お遍路を巡拝される方は、洋服の上に笈摺とお袈裟を着け、金剛杖・念珠・三衣袋などを持つスタイルが多いようです。運動靴など、お参りしやすい服装をお勧めします。

伊賀四国霊場の由来

三重県の北西部。歴史ある伊賀の地に、伊賀四国八十八ヶ所という霊場があります。伊賀は、昔より大和と伊勢を結ぶ要所であり、仏教文化の発達と共に、数多くの寺院が建立されてまいりました。



三重県の北西部。歴史ある伊賀の地に、伊賀四国八十八ヶ所という霊場があります。伊賀は、昔より大和と伊勢を結ぶ要所であり、仏教文化の発達と共に、数多くの寺院が建立されてまいりました。

文久三年(1863)当時の伊賀四郡(阿拜・山田・伊賀・名張)に位置する九十の真言宗寺院をもつて、伊賀四国八十八ヶ所霊場が組織されました。

開創は、常福寺(第29番札所)の住職であった本田光照僧正。発願人、中野助次郎と共に四国巡拝に赴き、一ヶ寺ごとに本尊供を修して、その霊場のお土砂を持ち帰りになられたと伝えられます。

伊賀四国八十八ヶ所霊場は、伊賀市と名張市に広がり、行程およそ七十里(280km)。

ホームページのご案内

<http://www.iga-shikoku88.com/>

伊賀四国八十八ヶ所霊場 検索

伊賀四国八十八ヶ所霊場 霊場会事務局

〒518-0721
 三重県名張市朝日町1272 観音寺 中
 TEL0595-63-1304 FAX0595-64-9574
 info@iga-shikoku88.com